

# 岩手県感染症週報

平成16年第43週（10月18日～10月24日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第43週の概要

- |        |                     |                    |
|--------|---------------------|--------------------|
| 1 類感染症 | } 患者発生の報告はありませんでした。 | 5 類感染症（全数把握対象疾患）   |
| 2 類感染症 |                     | ・患者発生の報告はありませんでした。 |
| 4 類感染症 |                     |                    |

### 3 類感染症

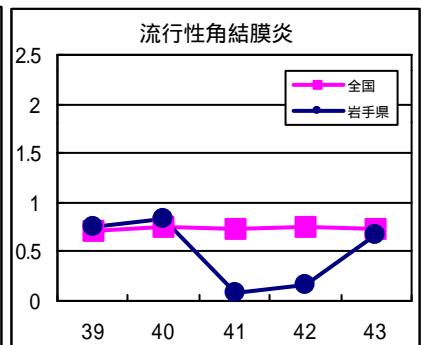
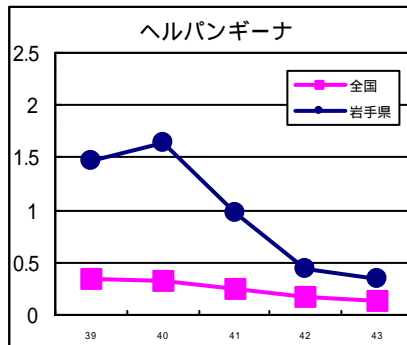
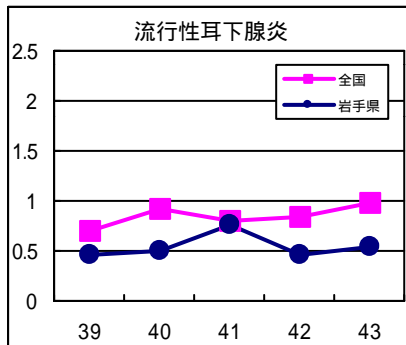
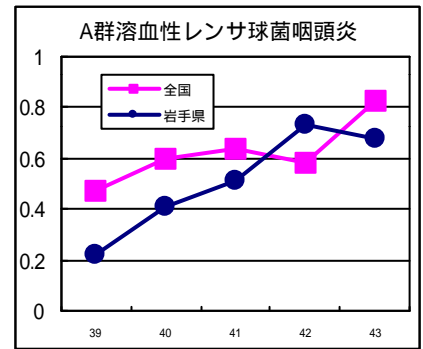
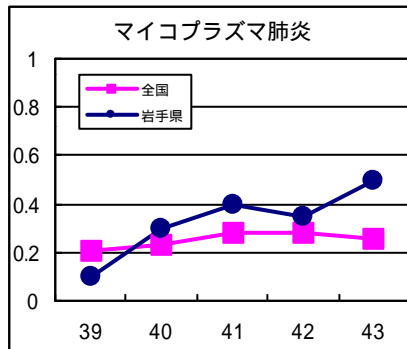
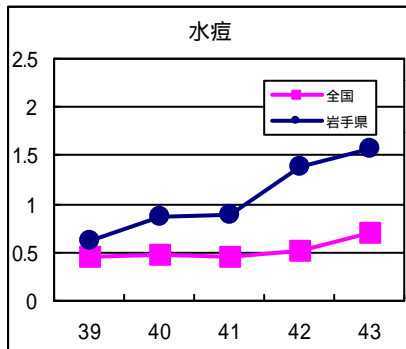
・O157などの腸管出血性大腸菌感染症は、北上地区から3例の患者発生の報告がありました。また、同地区からは前週発生分の1例の追加報告がありました。秋から冬にかけての気温が低下する時期でも、集団感染例は過去には発生しているので、入念な手洗いや調理器具の消毒などの感染予防対策は引き続き必要です。

### 5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・水痘は、前週患者数が多かった釜石地区ではやや減少しましたが、北上地区で急増し定点当たり患者数が7.7人と警報値（同患者数7.0人）を超えました。県内では大船渡地区など患者数が少ない地区もありますが、各地区ともこれから流行が広がることが予想されるので注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎は北上地区で患者数が多い状態が続いています。患者の年齢層は2～6歳がほとんどですが、15歳以上の患者も見受けられます。
- ・マイコプラズマ肺炎の患者が増加しています。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		39	40	41	42	43		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0.01	0.01		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0	0.03	0.08	→	
	全国	0.15	0.16	0.13	0.11	0.12		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.22	0.41	0.51	0.73	0.68	→	
	全国	0.47	0.6	0.64	0.58	0.83		
感染性胃腸炎	岩手県	0.68	1.51	1.57	1.35	1.14	→	
	全国	2.24	2.53	2.53	2.49	2.76		
水痘	岩手県	0.62	0.86	0.89	1.38	1.57	↗	
	全国	0.45	0.47	0.45	0.52	0.7		
手足口病	岩手県	0.78	0.76	0.38	0.73	0.35	→	
	全国	1.04	1.07	1.15	1.02	0.99		
伝染性紅斑	岩手県	0.22	0.3	0.14	0.3	0.3	→	
	全国	0.1	0.1	0.09	0.1	0.11		
突発性発疹	岩手県	0.73	0.59	0.68	0.46	0.54	→	
	全国	0.73	0.78	0.7	0.65	0.67		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.05	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.46	1.65	0.97	0.43	0.35	↘	
	全国	0.35	0.33	0.24	0.18	0.14		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.46	0.49	0.76	0.46	0.54	→	
	全国	0.7	0.92	0.79	0.84	0.98		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.02	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.75	0.83	0.08	0.17	0.67	→	
	全国	0.72	0.75	0.74	0.75	0.74		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	2	0	0	0	0	→	
	全国	46	88	68		0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.01	0.04	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.1	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.07	0.04	0.03	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.1	0.3	0.4	0.35	0.5	→	
	全国	0.21	0.23	0.28	0.28	0.26		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 39	40	41	42	43	累計	43	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	1	1	73	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	7	500	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	59	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	3	74	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	2	2	1	3	75	46	3304	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	479	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	23	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	37	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	4	242	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	7	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	91	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0	0	2	3	136	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	48	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	21	930	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	6	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	0	70	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	20	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	8	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	3	106	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	40	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	57	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	5	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	0	5	414	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	82	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	42	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	61	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	3	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	1	118		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

急性の脳症が疑われる事案について

新潟県、山形県などにおいて急性の脳症を疑う事案が発生しています。28日までに7県44例（疑いを含む）の発生があり、うち12人が死亡しています。

これまでに、発症者は「腎機能の低下」の状態を有し、「スギヒラタケ」の摂取があるとされています。

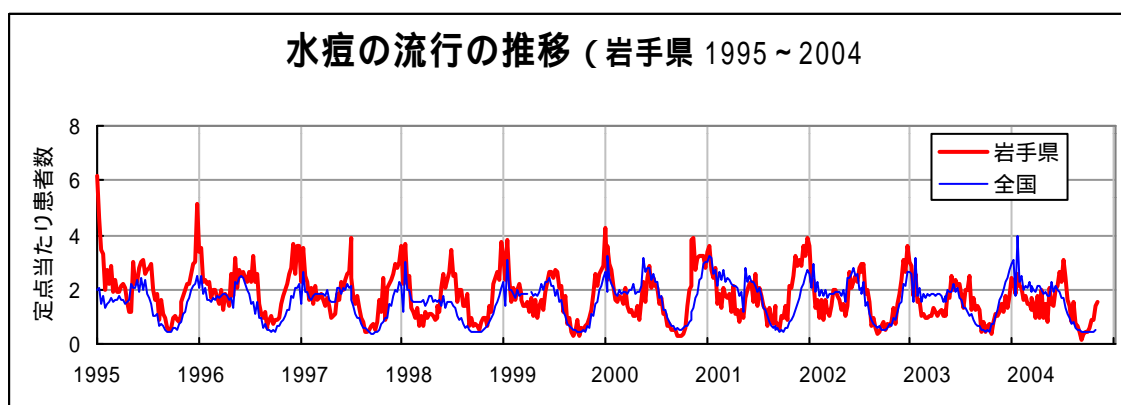
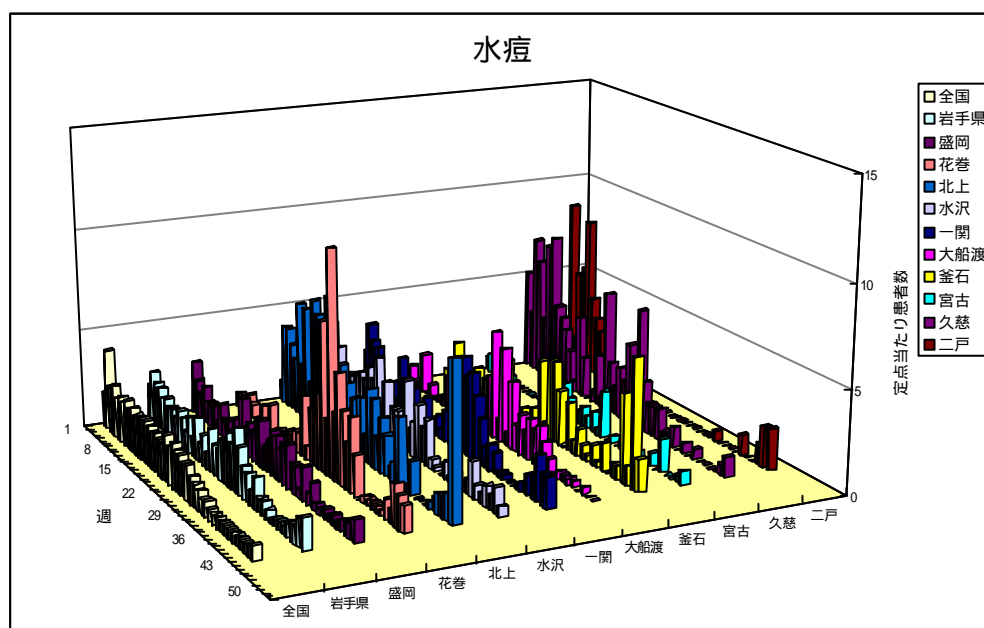
スギヒラタケは従前から食用キノコとして摂取されており、これまで健康被害の報告もないところですが、腎機能が低下している方への安全性が確認されるまでの間、これらの方々にはスギヒラタケの摂取を控えるようにお願いします。

詳しい情報は当研究センターのホームページのトピックスの記事「急性脳症が疑われる事案について」<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/topics/nousyou.html>から、関連記事へのリンクをご利用ください。

水痘

水痘は、本県では例年、年2回の流行を繰り返しています。これから年末の流行のピークに向けて各地で患者が増加することが予想されます。

感染の予防にはワクチンが効果があります。満1歳から接種できるので、できるだけ早い時期に予防接種を受けることが大切です。健康な小児では、ワクチンを接種しても罹患することがありますが、水疱のでき方も少なく軽症です。



## 病原体検出情報

- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス19型を2例分離検出しました。
- ・咽頭結膜熱の患者の結膜拭い液からアデノウイルス19型を1例分離検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を1例分離検出しました。

## 集団感染情報

この週には集団感染情報はありません。

## 医療機関からの情報

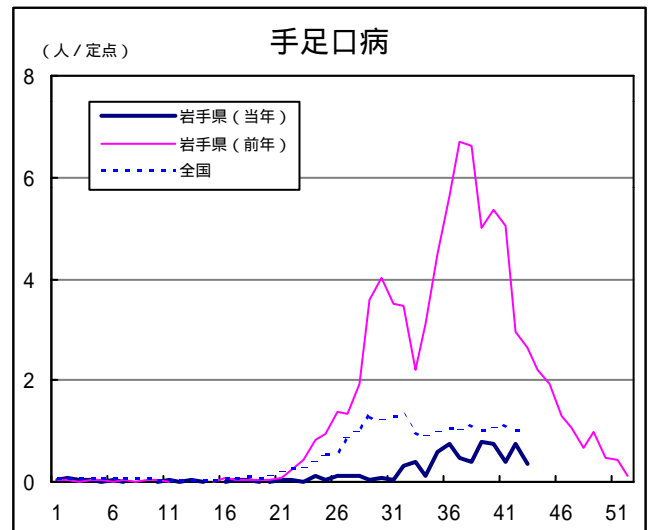
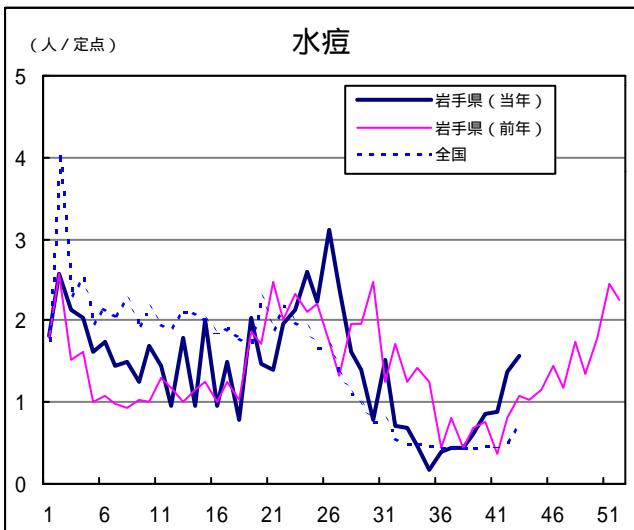
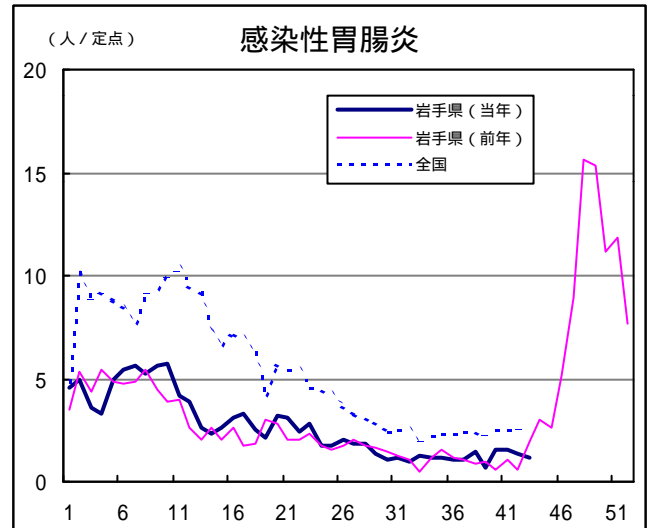
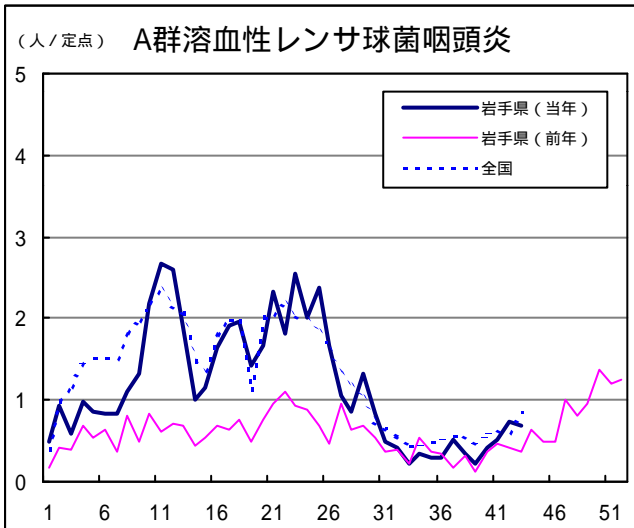
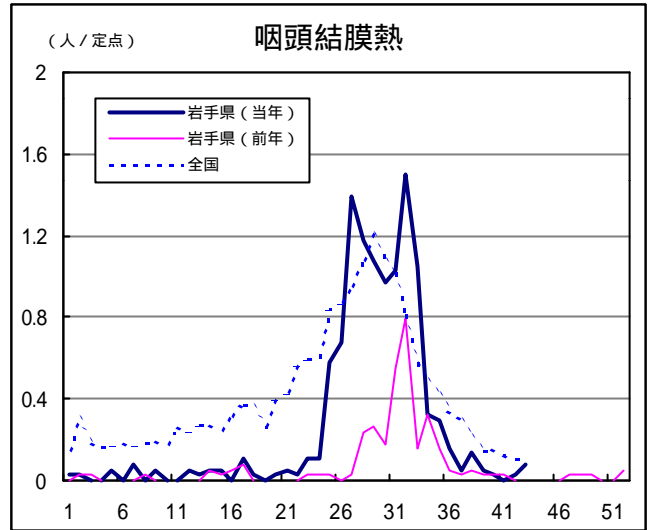
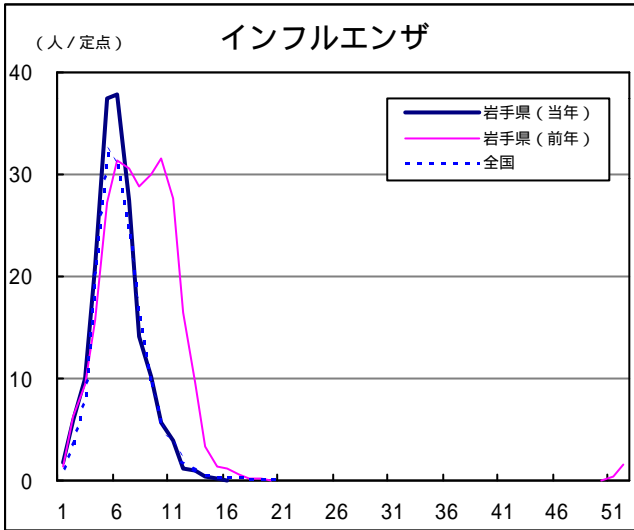
- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・アデノウイルスによる感染症がまだ続いています。

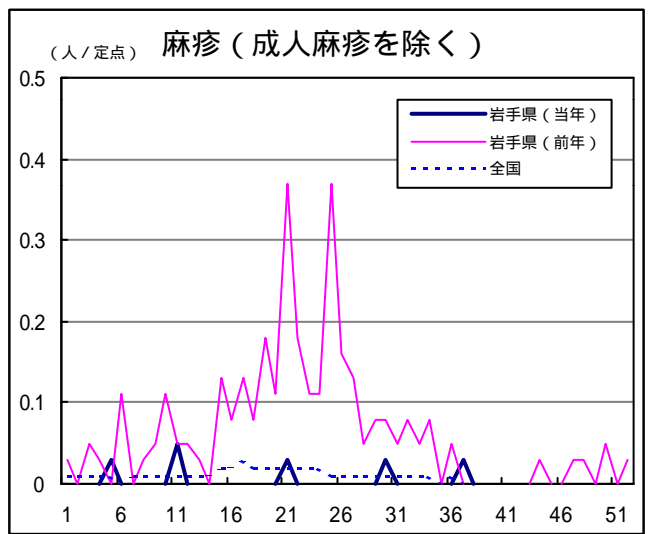
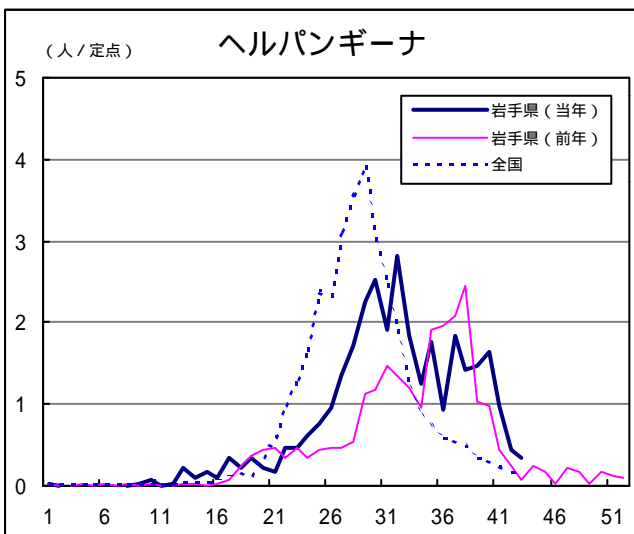
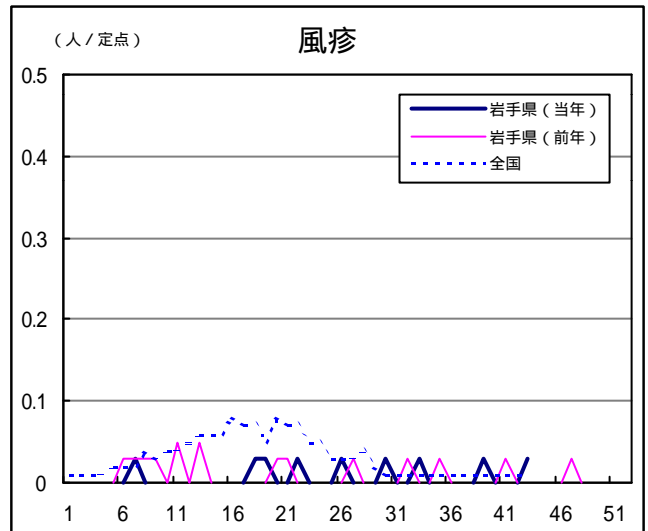
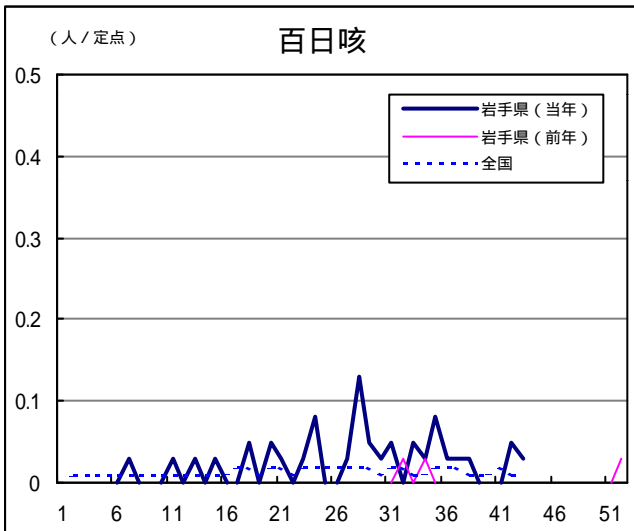
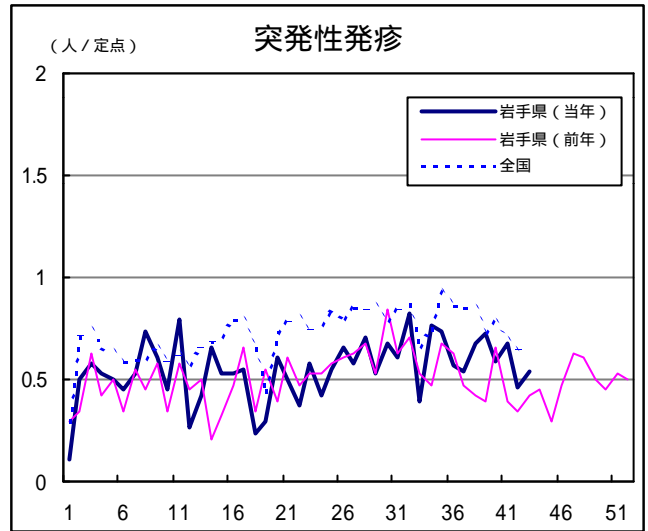
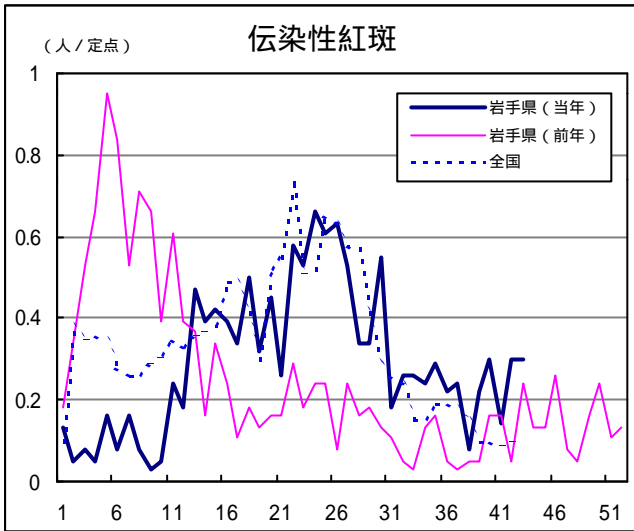
## Q & A

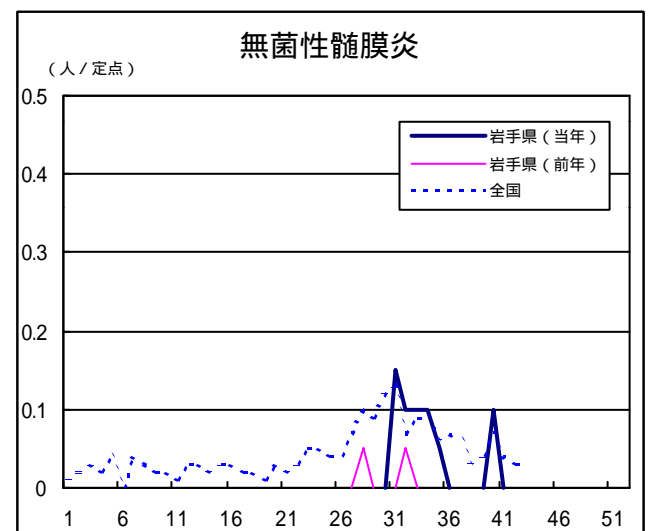
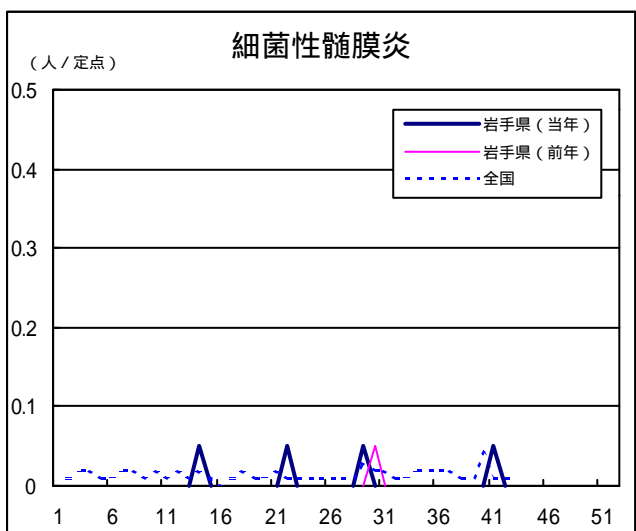
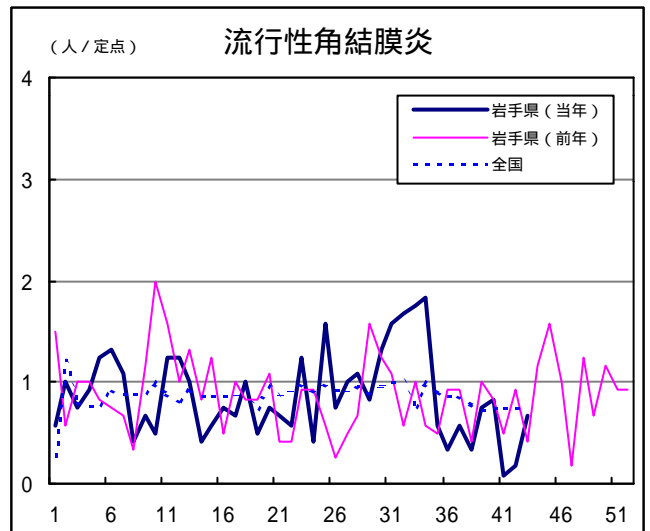
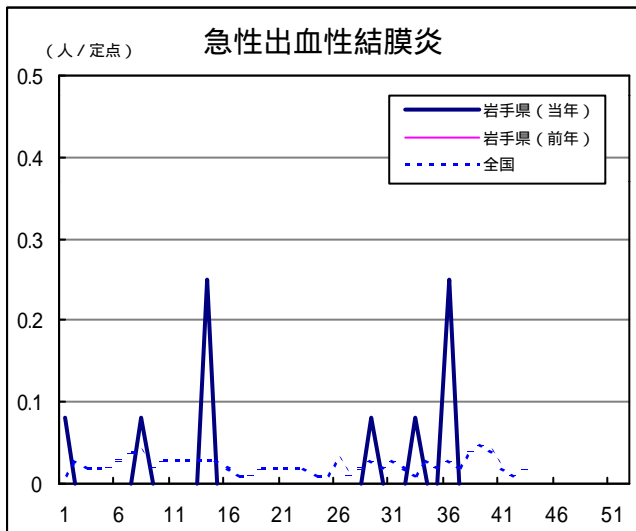
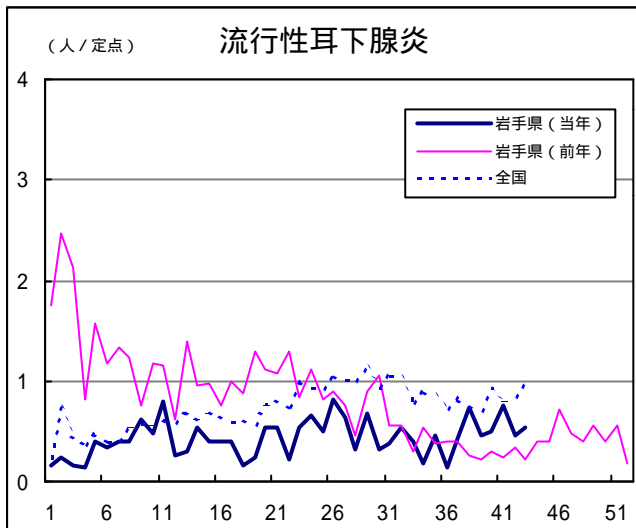
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

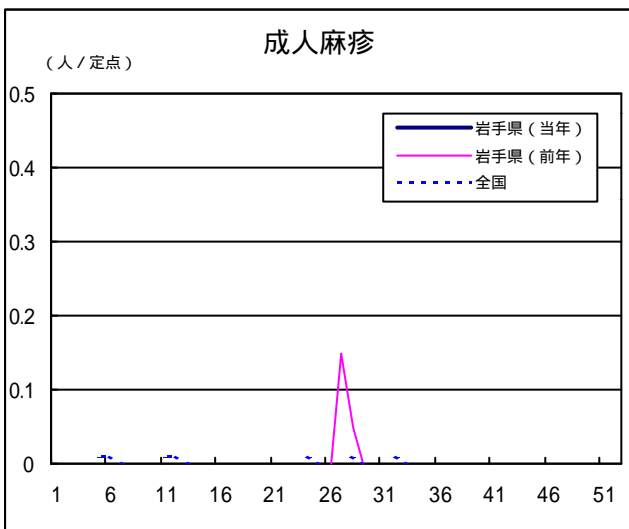
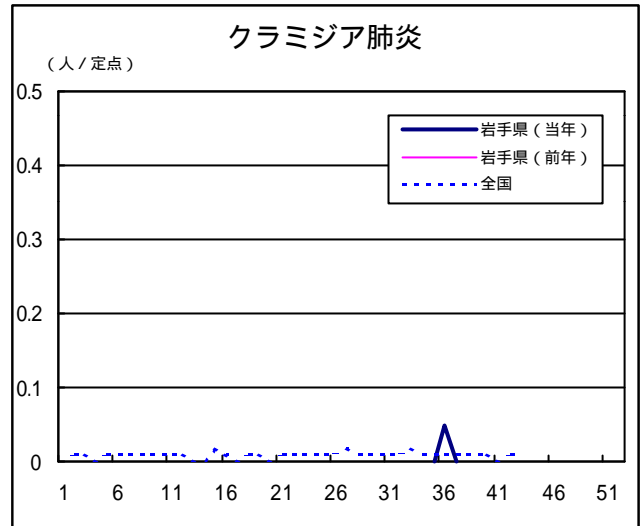
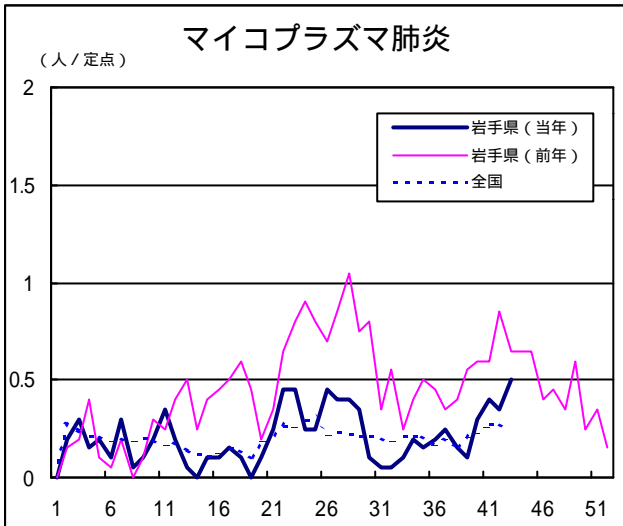
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第43週 平成16年10月29日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>